

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【公表番号】特表2002-535387(P2002-535387A)

【公表日】平成14年10月22日(2002.10.22)

【出願番号】特願2000-595973(P2000-595973)

【国際特許分類】

C 07 C 327/30	(2006.01)
C 07 D 213/55	(2006.01)
C 07 D 239/38	(2006.01)
C 07 D 277/20	(2006.01)
C 07 D 277/30	(2006.01)
C 07 D 307/16	(2006.01)
C 12 N 1/20	(2006.01)
C 12 P 17/08	(2006.01)
C 07 D 209/48	(2006.01)
C 07 B 53/00	(2006.01)

【F I】

C 07 C 327/30	Z C C
C 07 D 213/55	
C 07 D 239/38	
C 07 D 277/30	
C 07 D 307/16	
C 12 N 1/20	A
C 12 P 17/08	
C 07 D 209/48	Z
C 07 B 53/00	G
C 07 M 7:00	

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月15日(2007.1.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 15 - フルオロエリスロマイシンA、15 - エテニルエリスロマイシンA、15 - クロロエリスロマイシンA、15 - プロモエリスロマイシンA、および15 - アジドエリスロマイシンAからなる群より選択される、エリスロマイシン。

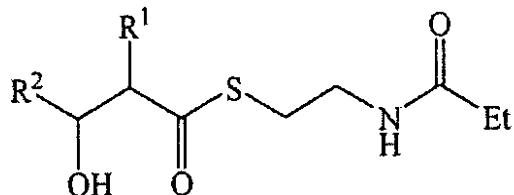
【請求項2】 15 - フルオロエリスロマイシンAである、請求項1に記載のエリスロマイシン。

【請求項3】 請求項1に記載のエリスロマイシンのポリケチド前駆体であって、15 - フルオロ - 6 - デオキシエリスロノリドB、15 - エテニル - 6 - デオキシエリスロノリドB、15 - クロロ - 6 - デオキシエリスロノリドB、15 - プロモ - 6 - デオキシエリスロノリドB、15 - アジド - 6 - デオキシエリスロノリドBからなる群より選択される、ポリケチド前駆体。

【請求項4】 15 - フルオロ - 6 - デオキシエリスロノリドBである、請求項3に記載のポリケチド前駆体。

【請求項 5】 次式：

【化 1】



のラセミ N - アシルシステアミンチオエステルであって、ここで：

R¹ が、メチルまたはビニルであり；

R² が、必要に応じて置換された C₁ ~ C₅ アルキルであるか、または

R² が、C₂ ~ C₄ アルケニル、C₂ ~ C₄ アルキニル、C₃ シクロアルキル、フェニル、2 - メチルチアゾリル、テトラヒドロフリル、またはピリジルであり；そして
ここで、該ラセミ N - アシルシステアミンチオエステルが、(2R*, 3S*) の相対的立体化学配置を有する、

ラセミ N - アシルシステアミンチオエステル。

【請求項 6】 請求項 5 に記載のラセミチオエステルであって、ここで、

R² が、1つ以上のシクロアルキル基、ハロゲン基、アルコキシ基、アルキルチオ基、アジド基、アルコキカルボニル基、フェニル基、アリールオキシ基、ベンジルオキシ基、アリールチオ基、ピリジル基、チアゾリル基、またはフタルイミド基で必要に応じて置換されたアルキルである、ラセミチオエステル。

【請求項 7】 請求項 5 に記載のラセミチオエステルであって、ここで、R² が、C_{H₃}CH₂CH₂、CH₂=CH、CH₂=CH-CH₂CH₂、FC_{H₂}CH₂、BrCH₂CH₂、ClCH₂CH₂、またはN₃CH₂CH₂である、ラセミチオエステル。

【請求項 8】 請求項 5 に記載のラセミチオエステルであって、R¹ が、メチルである、ラセミチオエステル。

【請求項 9】 請求項 8 に記載のラセミチオエステルであって、R² が、CH₂=C_H、CH₂=CHCH₂CH₂、FC_{H₂}CH₂、BrCH₂CH₂、ClCH₂CH₂、N₃CH₂CH₂、またはCH₃CH₂CH₂である、ラセミチオエステル。

【請求項 10】 請求項 9 に記載のラセミチオエステルであって、R² が、FC_{H₂}CH₂CH₂である、ラセミチオエステル。